

令和8年3月19日(木)  
香川県教育委員会事務局  
高校教育課〔担当者〕井上  
TEL 087-832-3747 (内線 5265)

農林水産省主催「ディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード」  
において、三本松高等学校の「三高みんなの食堂プロジェクト」  
の取組が全国の優良事例に選定されたことの結果報告のため  
に、知事を表敬訪問します。

1 日時 令和 8年 3月 25日(水曜日) 9:30~

2 場所 香川県庁本館 11階 第3応接室

3 出席者 知事 教育長  
東かがわ市 教育連携コーディネーター 1名  
農事組合法人 福栄中央 1名  
三本松高等学校 学校長 1名  
代表生徒 3名

計 6 名

4 内容 選定された取組内容と結果報告

「三高みんなの食堂プロジェクト」の取組み(別紙1)が、農林水産省「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第12回選定)(別紙2)にて、応募総数454件の中から、優良事例30地区に選定された。

令和7年12月19日に代表生徒が農林水産省にて認定証を授与され、令和8年1月20日には、総理大臣官邸にて交流会が実施され、木原官房長官から祝辞、鈴木農林水産大臣、黄川田内閣府地方創生担当大臣より激励を受けた。



26

## 三高みんなの食堂プロジェクト（香川県立三本松高等学校、農事組合法人福栄中央）

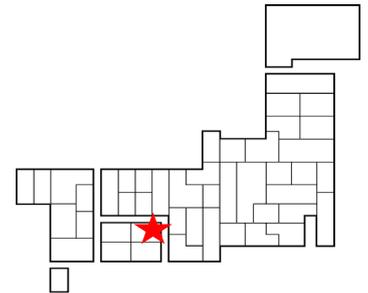
— 学食を地域食堂に、そして住み続けたいまちへ —

コミュニティ・地産地消部門

6次産業化

教育機関との連携

食育・教育



香川県 東かがわ市

### 【概要】

- 危機的な経営状況にあった高校の学食を、生徒と地元農事組合法人の協働のもと復活。地域の資源、食材の有効活用や地産地消に取り組み、高校生の食環境をよくしながら持続可能な経営を目指す。この活動を地域に広げ、単なる学食から地域の交流と食の発信の場となるよう取り組む。
- 生産から調理、販売までを農業法人が行い、最近ではイベント等の弁当も販売することで収入も安定。規格外の農産物や余剰品を調理することで、食品ロスを減らし高付加価値化を実現。また、他の高校の生徒の見学や交流、行政や飲食業者などの視察を積極的に受入れている。

### 【成果】

- 生産者、農業法人が消費者である高校生と直接繋がりがながらの六次化であり、良い反応を聞けることは生産者としての意欲の高まりにつながり、地産地消にも貢献。
- 生産者が教育の場に日常的に入ることによって、生徒は食の背景を考えることができ、消費者としての自覚がもてた。また、学食がまちのコミュニティの拠点となることで、生徒が将来地域コミュニティを支えるための実践的な学びの場となり、生徒の主体性が向上。学食運営における農学連携の新しいモデルケースとなった。



校内につくった畑での作物生産



地域の人が学食を利用



地域の飲食店が学食で提供する「一日食堂」



# 選定地区の情報発信

「ディスカバー農山漁村の宝」に選定された地区に対しては、特設 Web サイト等で活動を紹介するほか、PR 動画の制作、交流会、メディア媒体での記事掲載など、全国へ幅広く発信しています。



取組紹介の PR 動画 (クワアリ地区)



メディア媒体 (インスタ、TikTok) での記事掲載



# 有識者懇談会委員



**環境保全型農業や環境保全につながる取組に期待しています。**  
特別賞の分野  
農林水産業のグリーン化に資する取組等

あん・まくなど  
上野大生  
アイランド・アスナナセラテリ研究所 所長



**棚田をはじめ、美しい景観の保全に資する取組等の多くの応募を期待しています。**  
特別賞の分野  
美しい景観の保全に資する取組等

織作 峰子  
大阪芸術大学 教授  
写真家



**教えていただけますか？  
今、夢をもって取り組んでいることを！**  
特別賞の分野  
食の流通販売やマリンエなどの地産地消、農産物運搬や森林の維持活用の取組等

水島 敏行  
(有) 青雲市制代表取締役



**農泊や観光などの地域での取組を待っています！**  
特別賞の分野  
交流人口や関係人口の拡大に資する取組等

藤井 大介  
(株) 本田アグリシステム代表取締役社長  
(株) アグリーフ・アーム・コハロー代表取締役社長



**日本のお土産食材をアクティブに継承・発展・開発されている方々、集まれ！**  
特別賞の分野  
伝統野菜や特産食材による郷土料理の継承、日本の食文化発展に貢献する取組等

向笠 千恵子  
フードジャーナリスト  
食文化研究者  
郷土料理研究家



**永続可能で将来性があること、斬新な情報発信を評価します。**  
特別賞の分野  
企業と地域の連携や情報発信、デジタル化に関する取組等

今村 司  
札幌テレビ放送(株) 取締役副社長



**地域資源から新たな価値を生み出す魅力的な皆様は日本のスターです！**  
特別賞の分野  
ユニークなテーマや話題作りで注目される取組等

田中 里沙  
専攻博 群馬大学 学長



**地域で活躍している若者をはじめとした取組を教えてください！**  
特別賞の分野  
高校・大学生などの若者活躍や食料安全保障強化に資する取組等

林 良博  
国立科学博物館 館長  
東京大学 名誉教授



**特にジビエの活用などの食材の活用取組に期待します。**  
特別賞の分野  
半農半漁や高品質な食材の提供など食材に関する取組等

三國 清三  
(株) ソンエノミクニ 代表取締役



**日頃の取り組みを情報発信し価値を高め輝く宝物にしよう。**  
特別賞の分野  
6 次産業化や地域資源の有効活用、農林水産物・食品の輸出促進に資する取組等

横石 知二  
(株) いろいろどり 代表取締役社長



# ディスカバー農山漁村の宝 AWARD ～第12回選定～



応募はこちらから



## 応募受付中



# 令和7年6月2日～8月12日



「ディスカバー農山漁村の宝」ホームページ

<https://www.discovermuranotakara.com/>



別紙 2

農林水産省 農村振興局 農村政策部 農村計画課 農村活性化推進室

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

電話(直通)：03-3502-6001

お問い合わせ先

# 「デイスカバー農山漁村の宝」とは

「デイスカバー農山漁村の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の地域資源を活用し、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものです。平成26年から実施し令和6年までに345の優良事例を選定しております。

## あなたの農山漁村の「宝」を教えてください

地域において、新たな需要の発掘・創造や潜在している地域資源の活用を行うことにより、農林水産業・地域の活力創造につながる、次の①から③のいずれかに該当する取組（あなたの農山漁村の宝）を教えてください。

- ① 美しく伝統ある農山漁村の次世代への継承
- ② 幅広い分野・地域との連携による農林水産業・農山漁村の再生
- ③ 国内外の新たな需要に即した農林水産業の実現

募集取組

### 応募できる取組のイメージ

地域資源を活かしたチャレンジ



“らしさ”があればOK!

地域のつながりを生かした活動



小さな集まりでも地域を元気にする活動なら大歓迎!

新しい働き方・暮らし方の創出



“農”や“漁”のかたちが少し変わってきているような事例もOK!

地域外とのつながりを作った取組

地元の人だけでなく“外の力”をうまく取り入れた例も歓迎!

応募期間 令和7年6月2日(火)～8月12日(火)

### 応募方法

応募フォームに必要事項を入力いただき、ダウンロードした応募用紙 (Word ファイル) を添付のうえ応募ください。詳細は右の二次元コードまたは下記 URL <https://www.discovermuranotakara.com/sentei/> をご確認ください。



応募を迷っている方へ



まずは気軽にご相談ください!  
ご希望があれば、過去の事例の紹介やサポートを行います。



「自然環境科」を設置した高校の取組や農福連携で産地の付加価値向上した取組など過去の選定事例はこちらから <https://www.discovermuranotakara.com/sentei/select-map.php>



### 選定方法

有識者懇談会において、総合的に審査し、優良事例を選定します。さらに選定された優良事例の中からグランプリ、優秀賞及び特別賞を選定します。

審査のポイント **先進性・独創性・話題性がある**



受賞体系

（優秀賞）

ビジネス・イノベーション部門  
所得向上や雇用を生み出す取組等  
団体向け

（優秀賞）

コミュニティ・地産地消部門  
地域活動による活性化の取組等  
団体向け

（優秀賞）

個人部門  
リーダー的な活躍をしている者等  
個人向け

（特別賞）

特長の際立つ取組の認知度をさらに向上させるため、選定された地区の中から、特別賞を選定



## 「デイスカバー農山漁村の宝」選定証授与式（第11回選定）

令和6年12月15日に選定証授与式を都内会議室にて開催し、特別賞の発表、有識者懇談会委員からの選定証の授与、第2部では選定地区へのインタビューと有識者委員、選定地区同士の交流会を行いました。



## 「デイスカバー農山漁村の宝」交流会（第11回選定）

令和7年1月7日に交流会を総理大臣官邸にて開催し、選定地区の代表者は内閣総理大臣、内閣官房長官、農林水産大臣、内閣府特命担当大臣等からの直接の激励を受けました。

